



学校だより

子どもの「やる気」を育てます

3月号 令和8年2月27日
西東京市立保谷第一小学校
校長 原 之雄
〒202-0004 西東京市下保谷1-4-4
TEL042-422-4513 FAX042-424-7117
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houyal/>
e-mail e-houyal@nishitokyo.ed.jp

保谷第一小ホーム
ページ
QRコード



努力は報われる？…卒業する6年生の皆さんへ

校長 原 之雄

「努力は人を裏切らない」等、「努力」に関する格言を耳にする機会は多くあります。中には、「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力とはいえない」という言葉もあるようです。確かに努力なしに目標を達成することは不可能ですし、これらの言葉には一心不乱に練習に打ち込み、成果をあげた人ならではの力強さがあります。

しかし一方、どんなに努力しても叶わないこともあります。こんな時、どう考えるでしょうか。自分には努力して育てるだけの才能がなかった、努力する環境に恵まれなかった、努力を続ける意志が弱かった、・・・等々。そう考えると、結局のところ努力をしても無駄、または超人的な人以外は無理、ということになってしまうのではないのでしょうか。

なぜ、こんなことになってしまうのか、それは努力の見返りに結果（成果）を求め過ぎてしまうからかもしれません。私は、努力に新しい意味を加えたいと思います。それは、努力は何かを達成するための手段ではなく、努力をすること自体がすでに一つの大きな価値だということです。

一生懸命に努力して叶えたい何かがあるということ、この事自体が大変幸せなことです。そして、その何かに向かって努力できること、それ自体が一つの大きな喜びです。それも自分一人ではなく、周りの人と、同じ目標に向かって、同じ時間を共に過ごしていること自体が何にも替えられない大切なものだろうと思うのです。

卒業する6年生の皆さん、自分が本当に好きだと思えるものがありますか。損得を度外視して、夢中になって全力を投じられるものがありますか。

「ある」と言える人は、とても幸せな人です。それがあることに喜びを感じて、「努力」を愉しんでください。この場合も基準は「他者と比べて」ではなく、「己に恥じないか」です。主体性、すなわち自由を思う存分謳歌してください。

「ある」とは言えない人、落胆することはありません。皆さんはまだ12才、あると言えない人の方が普通なのです。自分は何が好きなのか、どんな人間なのか、それを探しながら歩いていくこと、それに出会うことに胸を膨らませること、これこそが学童期を終え、青春期に入っていくことの証です。じっくりと「自分」探しの旅を愉しんでください。

長い人生、うまくいくこともあれば、いかないこともあります。その両方を引き受け、「努力」を愉しんでほしい、保谷第一小学校の全ての大人からのメッセージです。